

全国の猛者による熱いレース

D.I.D全日本モトクロス選手権シリーズ第5戦

D.I.D全日本モトクロス選手権シリーズ第5戦HSR九州大会が10月8日、9日の2日間、HSR九州のオフロードコースで開催されました。起伏に富んだコースで速さと技術を競うこの大会には、全国から1,520人の観客が訪れました。迫力あるエンジン音を響かせながら急カーブでの素早い切り返し、ダイナミックにジャンプする姿に観戦している皆さんも釘付けになっていました。



土ぼこりを巻き上げながらスタートするライダー

林業従事者が火花を散らす

大津町で熊本県林業技能者競技会を初開催

第21回熊本県林業技能者競技会が9月22日、高尾野森林公園で開催されました。これは、林業の技能向上と意識の向上、業界の健全な発展を目的に、(公財)熊本県林業従事者育成基金が主催し、熊本県認定事業者連絡協議会が共催しているものです。競技会では、木を切る正確さや安全性などを審査するものや林業機械の運転技術を競うものなどがあり、県内の林業従事者20人が参加しました。会場では来場者のために大津産のからいもが振る舞われました。



いかに安全に速く選手たちの力量が試される競技「伐倒・玉切り」

自分も相手も守ろう、交通安全

9月21日～30日にかけて秋の交通安全運動を実施

翔陽高校の生徒がDJポリスとして通行車両や歩行者に交通安全の呼びかけを国道325号の交差点で9月21日に行いました。また、30日の「交通事故死ゼロを目指す日」には、大津地区交通安全協会大津支部と大津警察署が買い物帰りのお客さんに対し、交通安全の呼びかけを行いました。古澤榮一支部長は、「夜の散歩をする人が増えてきている、運転手に目立つよう反射材の活用を積極的に行ってほしい」と話しました。



運転中の人や買い物帰りに人に交通安全を啓発

山林火災などに備えて連携協定

町・大津町消防団・日立建機日本(株)と協定締結

火災現場で消防用の水を確保するため、町・大津町消防団・日立建機日本(株)九州支社と三者協定を9月27日に締結しました。これは、山林火災などが発生した場合、周辺に消防水利(消防用の水の供給設備)が無い地域で、日立建機日本(株)九州支社が所有する散水車(水タンク車)を活用できるものです。三者協定は、九州内で初めての協定となりました。大津町消防団坂本団長は「町内には山林を始め消防水利が少ない場所が多く、これからの消火活動に大いに期待できます」と話しました。



左から松田健太郎副団長、坂本幸一団長、金田町長、日立建機日本松村孝一九州支社長、矢野大介副団長

スポーツの森を遊びつくす

ワンパクの森～ONE DAY PARK～を開催

「ワンパクの森」が町運動公園で10月2日、開催されました。これは、肥後おおづスポーツ文化コミッション主催のイベントで、セグウェイやバブルボールなどのアクティビティスポーツのほか、剣道や和太鼓、茶道など、武道・文化・スポーツを体験できるものです。約520人の参加があり、子どもたちはスタンプラリー形式で会場全体を周回しながら、さまざまなスポーツを体験しました。参加した子どもたちは「凧あげが楽しかった」「お茶がおいしかった」と楽しんでいました。



体育館や運動公園内の12カ所で遊びを体験しました

大きくなってもどってきてね

大津東小学校の児童たちによるキジの放鳥

児童たちによるキジの放鳥が熊本県猟友会大津支部の支援のもと内牧区のふれあい公園で10月8日に行われました。大津東小学校の児童約20人と保護者が計33羽のキジを放鳥し、放鳥されたキジは勢いよく元気に飛び立っていきました。同支部の本田義邦支部長は、「児童たちが実際にキジに触れ合い、山の中から放鳥したキジの声を聞くことで、国鳥であるキジを身近に感じてほしい」と話しました。



初めて触るキジに緊張する児童 空に向かってキジを羽ばたかせました

半導体関連企業の集積を目指して

ジャパンマテリアルとの立地協定

半導体製造向けガス供給管理サービスを展開する「ジャパンマテリアル(株)(三重県)が、この度、熊本中核工業団地内(高尾野)に企業立地することとなり、蒲島知事立ち合いのもと、9月29日に町と立地協定を締結しました。田中久男代表取締役社長は、「この新工場がテクニカルハブセンターとして半導体製造のための安定供給の拠点となり、『シリコンアイランド九州』再起のため、熊本をはじめ九州全域を盛り上げていきたい」と話しました。当社では今後、150人の雇用やさらなる事業拡大も予定されています。



左から、蒲島知事、田中久男代表取締役社長、金田町長

ボランティアできれいな町に

建設業組合が社会貢献活動

町の建設業組合が主体となり、電気・機械設備組合、造園組合の約90人が参加して、町道、県道沿いの樹木の剪定や側溝の清掃、中学校の樹木の剪定などを10月12日に実施しました。毎年、同組合が社会貢献活動として自主的に取り組んでいるものです。役場庁舎前で開催された出発式では、大津建設業組合代表の宇都宮義次組合長の挨拶の後、金田町長にボランティア計画書が贈呈されました。



清掃作業ありがとうございました